

小児科卒後臨床研修プログラム

I. 研修プログラムの目的及び特徴

この研修プログラムは千葉県済生会習志野病院小児科が作成したプログラムである。

初期研修選択必修科目を終了した医師が、将来小児科を標榜しない場合においても、小児科医療を実践することで、小児科医療の特性や社会における役割を学ぶことを目的とする。

このプログラムを実践することで、

1. 小児科が総合診療科であることを知ることができる。
2. 成人とは異なった医療面接、診察方法、治療行為を経験できる。
3. 病児と親、家族との関わりを経験することで、病児と家族の心情に触れる良い機会となる。
4. 将来、医師として人間として成長していくうえで貴重な体験となりうる。

II. 研修プログラム責任者

プログラム総括責任者：野本泰正(小児科医長)

III. 研修指導者

研修指導責任者 野本 泰正

指導医 野本 泰正

IV. 研修プログラムの管理運営

研修期間中は指導医によって教育、評価が行われる。

V. 募集定員 2名まで

VI. 教育課程

1. 研修開始年度 平成 25 年 4 月 1 日
2. 当院では以下の研修を提供できる。
 - (1) 小児特有の感染症を経験できる(麻疹, ムンプス, 水痘, 溶連菌, ヘルパンギーナ, 手足口病, インフルエンザ, アデノウイルス感染, 感染性胃腸炎, RS ウイルス感染)
 - (2) 各種感染症の迅速診断をおこなうことができる。
 - (3) 乳幼児のプライマリーケア疾患(上気道炎, 気管支炎, 気管支喘息, 胃腸炎,

尿路感染症, アトピー性皮膚炎, 乳児湿疹, とびひ, 水いぼ, 哺乳不良, 体重増加不良)の診断と治療を経験できる

(4) 乳児健診を経験できる。

(5) 予防接種について学ぶことができる。

(6) 検査

- 1) 一般尿検査(尿沈査顕微鏡検査を含む)
- 2) 血算・白血球分画(計算板の使用, 白血球の形態的特徴の観察)
- 3) 心電図
- 4) 血液生化学的検査
- 5) 血清免疫学的検査(CRP, 免疫グロブリン, 補体など)
- 6) 細菌学的検査・薬剤感受性検査
- 7) 髄液検査
- 8) 単純X線検査
- 9) X線・CT検査

(7) 基本的手技

- 1) 皮下注射、静脈注射
- 2) 採血

(8) 症状の把握とその疾病

頻度の高い症状

- 1) 体重増加不良
- 2) リンパ節腫脹
- 3) 発疹
- 4) 発熱

何度も見られる疾患

- 1) けいれん性疾患
- 2) 発疹性疾患

麻疹, 風疹, 水痘, 突発性発疹, 手足口病, 伝染性紅斑, 溶連菌感染, 川

崎病

- 3) 細菌感染症(肺炎, 気管支炎, 胃腸炎, 尿路感染症など)

- 4) 小児喘息

VII. 週間スケジュール

外来診療: 毎日、病棟回診 : 毎日

予防接種: 毎週月曜日

新生児検診: 毎週火曜日

乳児検診: 毎週水曜日

喘息外来:毎週金曜日、
循環器外来:第3金曜日

VIII. 評価方法

1. 研修終了日に研修報告会を行う。各研修医は、小児科研修の体験を発表する。
2. 指導医により、各到達度目標に対する評価が行われる。
3. 研修医は、各到達度目標に対する自己評価表を提出する。